

津市個別施設計画（案）について

1 津市個別施設計画策定に係る背景

(1) 本市における公共施設の最適化に向けた課題

本市では、時代の変遷や社会環境の変化に伴う様々な行政ニーズに応える形で公共施設の整備を行っており、現在その総数は1,000施設を超えています。

これら公共施設の多くは、人口増加や経済の成長を背景として昭和40年代から昭和60年代にかけて集中的に整備を行ったものであり、それらは今後一斉に大規模改修や更新の時期を迎えることとなりますが、人口減少、高齢化の進展等の社会情勢の変化の中、公共施設整備に充てられる財源は必然的に縮小せざるを得ない状況にあり、将来にわたって現在の公共施設を質的にも量的にも維持していくことは極めて困難な状況にあります。

このことから、本市においては、平成18年1月1日の10市町村合併（以下「合併」といいます。）から10年が経過し、普通交付税の合併特例算定期間の終了に伴う交付額の段階的な減少が始まるなど、財政構造の転換点となる平成28年度に、津市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」といいます。）を策定し、健全な財政基盤を維持し、効果的かつ効率的に市民サービスを継続していくため、本市の公共施設の最適化に向けた基本的な考え方を示すほか、総合管理計画を具体化するものである個別計画の策定に取り組むことを示しました。

こうした中、総務省から、平成29年3月のインフラ老朽化対策の推進に関する関係府庁連絡会議での決定を受けた平成30年2月27日付け通知により、全国の地方公共団体に対し、公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画策定に向けた働きかけがありました。

(2) 本市における公共施設の最適化に向けた取組

本市では、合併後の10年間に於いて、合併時に定めた新市まちづくり計画に基づく施設整備事業に着実に取り組むほか、集会施設機能の確保、文化センターの経年劣化対策、学校施設の老朽化対策及び環境改善、放課後児童クラブの狭あい化解消、増加する保育ニーズへの対応など、各施設が抱える課題に対し、着実な取組を進めてきました。

ア 集会施設機能の確保

地域の拠点として様々なコミュニティ活動を支援するため、中学校区ごとに、人口1,000人当たり50㎡を基準に集会施設機能を確保すべく、順次整備を進めており、平成30年1月に豊が丘おおぞら会館、平成31年3月に一身田公民館、令和元年7月に津南防災コミュニティセンター、令和2年4月に安濃コミュニティセンター、同年7月に新たな新町会館、同年10月には新たな橋南公民館を整備してきました。

イ 文化センターの経年劣化対策

文化センターにおいては、設備等の経年劣化対策やつり天井の脱落対策が必要な施設があることから、平成30年度に白山総合文化センター及び令和元年度にサンヒルズ安濃の改修を行ったほか、令和2年度に津リージョンプラザの改修を実施しています。

ウ 学校施設の老朽化対策及び環境改善

学校施設については、約7割の校舎が建築から30年を経過していることから、児童生徒が安全かつ安心して学校生活を送ることができるよう、現在整備を進めている2校を含め、老朽化が著しい9校を対象に平成24年度以降、大規模改造を実施してきました。

あわせて、一部校区における児童・生徒の増加への対応、プレハブ校舎の解消、小中一貫の義務教育学校の整備などの目的で増築工事についても進めてきたほか、現在整備を進めている2校を含め小学校6校で給食共同化に伴う改修を実施しました。

また、快適な学習の場及び生活の場とするため、熱中症対策として普通教室及び特別教室1,391室へのエアコンの設置を令和元年度までに完了したほか、平成24年度以降、トイレ快適化計画に基づき校舎のトイレ洋式化を進めるとともに、必要に応じて体育館のトイレ洋式化にも取り組んでおり、学校施設全体の洋便器の設置状況は、平成24年5月時点の786基（23.5パーセント）から令和2年9月1日時点の1,824基（58.4パーセント）に増加しています。

さらに、令和2年度には、新型コロナウイルス感染症対策として、避難所に指定している学校施設の体育館のトイレ洋式化を進めており、また、体育館が避難者により密となるのを避けるため、校舎を使用することを想定し、更なる校舎のトイレ洋式化に取り組み、合計189基の洋式化を実施します。

【本市の学校施設における老朽化対策及び環境改善の実績（平成24年度から令和2年度まで）】

施設名	事業（目的）	実施年度
白塚小学校	校舎の大規模改造 （長寿命化）	平成24年度から 平成26年度まで
神戸小学校		平成24年度から 平成26年度まで
一身田中学校		平成24年度から 平成26年度まで
一志中学校		平成26年度から 平成28年度まで
新町小学校		平成28年度から 令和元年度まで
藤水小学校		平成29年度から 令和元年度まで
南郊中学校		平成29年度から 令和元年度まで
西が丘小学校		平成30年度から 令和2年度まで
久居中学校		平成30年度から 令和2年度まで
久居東中学校	増築 （児童数又は生徒数の増加への対応）	平成25年度
戸木小学校		平成27年度
芸濃小学校		令和元年度
南が丘小学校	増築 （プレハブ校舎の解消）	平成27年度及び 平成28年度
西が丘小学校		平成28年度
美里中学校 （みさとの丘学園）	増築 （小中一貫の義務教育学校への移行）	平成27年度及び 平成28年度
立成小学校	給食室増築 （衛生環境改善及び生徒数の増加への 対応）	平成29年度
一志西小学校	増築（学校再編への対応）	平成25年度
栗真小学校	改修（給食共同化）	平成30年度
片田小学校		平成30年度
櫛形小学校		平成30年度
安東小学校		令和元年度
雲出小学校		令和2年度
桃園小学校		令和2年度

エ 放課後児童クラブの狭あい化解消

放課後児童クラブについては、保護者の就労機会の増加により、登録児童数が全体的に増加傾向にあり、津市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例において定める専用区画の面積基準（児童1人につきおおむね1.65㎡以上）を下回る施設があることから、平

成29年度以降、観音寺地区放課後児童クラブどんぐり会、北立誠地区放課後児童クラブたつの子会、新町地区放課後児童クラブわかば会、神戸地区放課後児童クラブみどりっ子、大里地区放課後児童クラブびーだまクラブ、上野放課後児童クラブ上野どんぐり会及びアドバンスキッズくらぶにおいて、施設整備を行い狭あい化解消に取り組んできました。

オ 保育ニーズへの対応

保育所については、近年の就労形態の多様化や子育て環境の変化などに伴い年々増加する保育ニーズに対応するため、保育定員数の拡大を進めてきました。

既存施設の集約化や有効活用を基本としながら市立と民間の保育所等が連携して定員の確保に取り組んできたほか、子ども・子育て支援新制度が施行された平成27年度以降、市立認定こども園5園（津みどりの森こども園、芸濃こども園、香良洲浜っ子幼児園、一志こども園及び白山こども園）の整備を行ったことにより、平成18年度には市立と民間の保育所等を合わせて5,095人であった定員数を、令和2年度当初には6,501人まで拡大し、1,406人分の定員を確保しました。

また、令和2年6月には、閉園した旧雲出幼稚園舎を改修して、雲出保育園を当該園舎へ移転したことにより、更に24人の定員を確保しました。

2 津市個別施設計画の策定

本市では、前述のとおり、各公共施設が抱える課題への対応に取り組んできましたが、今後、昭和40年代からの高度成長期に集中的に整備した公共施設が一斉に改修又は更新の時期を迎えることから、総管理計画において示した個別計画として、個別施設毎に現状と課題を整理し、中長期的な視点でその取組の方向性を定める津市個別施設計画（以下「個別施設計画」といいます。）を策定することとします。

3 個別施設計画の概要

(1) 計画期間

令和2年度から令和11年度までの10年間としています。ただし、5年が経過した時点で中間見直しを行うほか、毎年度事業実施に係る事項を適宜反映していきます。

(2) 対象施設

総管理計画で対象とした公共建築物のうち、個別施設計画と同種・類

似の計画を策定済みの市営住宅、独立採算を原則とする公営企業所管施設及び小規模施設並びにインフラ施設などを除く 852 施設（延床面積 880,857 m²）を対象施設としています。

【個別施設計画の対象施設】

施設類型	施設区分	施設数	延床面積
集会施設		217	78,592 m ²
	コミュニティセンター	44	25,558 m ²
	集会所	67	9,645 m ²
	市営住宅内集会所	7	531 m ²
	隣保館	12	5,948 m ²
	農民研修センター	16	6,033 m ²
	教育集会所	18	2,960 m ²
	公民館	53	27,917 m ²
文化施設		35	55,747 m ²
	文化センター	10	39,059 m ²
	図書館	11	10,708 m ²
	資料館等	14	5,980 m ²
スポーツ施設		94	63,397 m ²
	体育館・武道場	25	53,871 m ²
	サッカー場・野球場・グラウンド・陸上競技場	28	4,536 m ²
	プール	8	4,430 m ²
	テニスコート	20	520 m ²
	その他運動施設	13	40 m ²
観光施設		20	12,810 m ²
	キャンプ場・河川公園	10	5,970 m ²
	温浴施設・宿泊施設・レストラン	7	5,662 m ²
	観光センター	3	1,178 m ²
産業施設		18	14,572 m ²
	勤労会館・労働会館	2	1,699 m ²
	コンベンション施設	1	8,467 m ²
	産業振興施設	1	420 m ²
	加工場	14	3,986 m ²
教育児童施設		190	480,212 m ²
	小学校・中学校・義務教育学校	68	410,499 m ²
	給食センター	3	4,568 m ²
	教育研究所	2	384 m ²
	短期大学	1	8,502 m ²
	放課後児童クラブ	47	6,334 m ²
	保育所・幼稚園・こども園	54	46,770 m ²
	子育て支援センター	8	1,233 m ²
	児童館	7	1,922 m ²
福祉施設		32	32,017 m ²
	老人福祉センター・デイサービスセンター（生活支援ハウス及び在宅介護支援センターを含む）	14	11,566 m ²
	社会福祉センター・福祉会館・老人憩の家	7	7,149 m ²
	介護保険施設	1	8,096 m ²
	障がい福祉サービス施設	6	3,779 m ²
	障がい者支援施設・母子寡婦支援施設	3	1,118 m ²

施設類型	施設区分	施設数	延床面積
	共同浴場	1	309 m ²
保健医療施設		16	8,470 m ²
	保健センター	10	7,402 m ²
	診療所	6	1,068 m ²
庁舎等		41	55,314 m ²
	本庁舎・総合支所庁舎	11	50,733 m ²
	工事事務所等	3	1,259 m ²
	出張所	27	3,322 m ²
消防防災施設		144	21,686 m ²
	消防署所	13	14,146 m ²
	消防団施設・水防倉庫	128	7,429 m ²
	消防倉庫	3	111 m ²
公営住宅		1	418 m ²
	林業者宿泊施設	1	418 m ²
処理場		13	48,135 m ²
	処理場	13	48,135 m ²
交通施設		28	4,467 m ²
	ヘリポート	1	578 m ²
	旅客船ターミナル	2	1,403 m ²
	駐輪場	25	2,486 m ²
斎場・火葬場		3	5,020 m ²
	斎場・火葬場	3	5,020 m ²
合計		852	880,857 m ²

4 今後のスケジュール

- (1) 令和2年12月 パブリックコメントによる意見募集
- (2) 令和3年 2月 個別施設計画の策定・公表（津市ホームページで公開）